

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 1 区分

【発行日】令和 2 年 11 月 12 日 (2020.11.12)

【公開番号】特開 2020-127419 (P2020-127419A)

【公開日】令和 2 年 8 月 27 日 (2020.8.27)

【年通号数】公開・登録公報 2020-034

【出願番号】特願 2020-81545 (P2020-81545)

【国際特許分類】

C 1 2 N 15/62 (2006.01)

A 6 1 P 37/02 (2006.01)

C 1 2 N 15/12 (2006.01)

C 0 7 K 14/435 (2006.01)

C 0 7 K 19/00 (2006.01)

A 6 1 K 38/17 (2006.01)

A 6 1 K 35/614 (2015.01)

【F I】

C 1 2 N 15/62 Z

A 6 1 P 37/02

C 1 2 N 15/12

C 0 7 K 14/435

C 0 7 K 19/00

A 6 1 K 38/17 Z N A

A 6 1 K 35/614

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 9 月 29 日 (2020.9.29)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

スチコダクチラ・ヘリアンサス毒素 S h K のアナログであって、S h K 毒素ポリペプチドと、

S E W S S ( 配列番号 9 ) からなる N 末端伸長とを含む、前記アナログ。

【請求項 2】

スチコダクチラ・ヘリアンサス毒素 S h K のアナログであって、S h K 毒素ポリペプチドと、E W S S ( 配列番号 2 )、E W S T ( 配列番号 6 )、E W T T ( 配列番号 7 ) 及び E W T S ( 配列番号 8 ) からなる群から選択される N 末端伸長とを含む、前記アナログ。

【請求項 3】

S h K 毒素ポリペプチドが、R S C I D T I P K S R C T A F Q C K H S M K Y R L S F C R K T C G T C ( 配列番号 4 ) に対応するアミノ酸配列を含む、請求項 1 又は 2 に記載のアナログ。

【請求項 4】

S h K 毒素ポリペプチドが、M e t 2 1 の置換を含むバリエーションアミノ酸配列を含む、請求項 1 又は 2 に記載のアナログ。

【請求項 5】

C y s 3 ~ C y s 3 5、C y s 1 2 ~ C y s 2 8 及び C y s 1 7 ~ C y s 3 2 の間にジ

スルフィド架橋を有するポリペプチドである、請求項 1 ~ 4 のいずれかに記載のアナログ  
。

【請求項 6】

細胞透過性ペプチドをさらに含む、請求項 1 ~ 5 のいずれかに記載のアナログ。

【請求項 7】

請求項 1 ~ 6 のいずれかに記載のアナログを含む、自己免疫疾患の治療剤。

【請求項 8】

治療される自己免疫疾患が、 $T_{E M}$  細胞によって媒介される自己免疫疾患である、請求項 7 に記載の治療剤。

【請求項 9】

請求項 1 ~ 6 のいずれかに記載のアナログを含む、がんの治療剤。

【請求項 10】

がんが固形腫瘍、白血病又はリンパ腫である、請求項 9 に記載の治療剤。

【請求項 11】

請求項 1 ~ 6 のいずれかに記載のアナログをコードするヌクレオチド配列を含むポリヌクレオチド分子。

【請求項 12】

請求項 11 に記載のポリヌクレオチド分子を含むクローニング又は発現ベクター。

【請求項 13】

請求項 11 に記載のポリヌクレオチド分子又は請求項 12 に記載のクローニング若しくは発現ベクターを含む宿主細胞であって、培養中に請求項 1 ~ 6 のいずれかに記載のアナログを発現することができる、前記宿主細胞。